

## 学校経営推進費評価報告書（2年め）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立長野高等学校 全日制の課程
取り組む課題	英語教育の充実
評価指標	英検準2級・2級の合格者数 G-TEC for students(スコア型英語テスト)における目標スコアの達成率
計画名	「英語による発信能力（話す・書く）」育成プロジェクト

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>英語教育、国際教育のさらなる充実を図り、グローバル化の進む 21 世紀をしなやかに生きる生徒を育成する。</p> <p>(1) 英語コミュニケーション能力のさらなる向上に取り組むとともに、<b>論理的思考力・課題解決能力・探究力</b>の育成を図る。</p> <p>ア 少人数展開を行い、<b>アクティブラーニングの手法を取り入れた授業を実施すること</b>により、一人ひとりが主体的・意欲的に取り組む授業を実践する。ICT 機器等を活用し 4 技能をバランスよく伸ばす。<b>英検・G-TEC 等の試験</b>を積極的に活用する。</p>
事業目標	<p>「読む」「聞く」「話す」「書く」4 技能のうち、特に課題がある「話す」「書く」の発信能力を向上させるため、民間の英語教育関連会社(ベルリッツ)と連携し、共同で指導法および教材開発を行う。また、そのための学習環境を整える。</p> <p>幅広い話題について発表・討論・ディベートなどを行い、言語活動を豊富に体験させることで、情報や考えなどを的確に理解し伝える能力を高める。</p> <p>英検準2級・2級の合格者数を毎年5%ずつ増やすとともに、G-TEC の目標スコア達成率を平成 29 年度に 10%、平成 30 年度には 15%、平成 31 年度には 20%にする。</p>
整備した 設備・物品	<p>可動式机 12 台 可動式椅子 30 台 プレゼンター 6 台 書画カメラ 3 台 ホワイトボード一式 (2 面)</p>
取組みの 主担・実施者	<p>首席 英語科教員全員 授業のあり方研究会メンバー (各教科代表者) 実施者: 全員</p>
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 可動式机と椅子、プロジェクター、ホワイトボードを完備した AL ルームを、通常授業及び、放課後の「英語トレーニング講座」で活用し、アクティブラーニングを実施した。</li> <li>• 特に「英語トレーニング講座」では、4 技能のうち「話す」「書く」を強化した内容で開講した。</li> </ul>
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 英検 2 級の合格者数: 30 人 / 準 2 級の合格者数: 60 人</li> <li>• G-TEC の目標スコア (500 点) 達成率 10%</li> </ul>

<p>自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• H30年度の英検の資格保有者は準1級：3人／2級：40人／準2級：94人……………(◎)</li> <li>• G-TECに表れた成果は、国際教養科2年生500点達成率17%であったが、普通科1年生は3%に留まった。……………(○)</li> </ul> <p>「英語トレーニング講座」については、講座終了後のアンケート結果によると、「発信力がついた」と答えた生徒は94%であったが、特に指導法や教材開発につながる内容とは言えなかった。</p>
<p>次年度に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 引き続き、民間英語教育産業のノウハウを活用できるよう、講師を厳選したい。ただ、予算が委託料でなく報償費のみであるので、個人の資質に寄るところが大きく、教材開発等の目標達成はかなり困難であると予想される。</li> <li>• 放課後に希望者を募ってトレーニング講座を開講することで、生徒のモチベーションを引き上げ、発信力を高める機会となっていることは確かである。英検の資格保有者の増加やG-TECの得点向上については、しっかりと成果を出したい。</li> </ul>